

■金沢市新産業創出ビジョンの実践（令和4年度新規施策）

Society5.0 時代に対応した新産業の創出をめざすとともに、市民の快適な暮らしの向上、地場企業の活性化や起業家の輩出を図るため、昨年8月に開館した「金沢未来のまち創造館」を拠点に、産学官の連携による新産業創出ビジョンの様々な施策推進に取り組みます。

- 金沢未来のまち創造館における事業活動を推進
 - ◎海外で活動するスタートアップ、子供たち、料理人との交流
 - ◎スタートアップ・新ビジネスの創出
 - ◎子供の独創力の育成
 - ◎食の価値の創造
- 小規模事業者等のデジタル技術活用人材を育成
- 5G技術を市民生活等で応用するためのモデル事業の実施
- RPA、AI・IoTやLPWA技術を導入する中小企業等への財政支援
- 大学や地場企業と連携した市民生活へのAI等最先端技術の浸透
- 中高生を対象とした情報活用力など様々なリテラシーを養成
- 若年層を対象とした次世代の起業家を育成



金沢未来のまち創造館(令和3年8月開館)

担当：金沢市 経済局 産業政策課 TEL：076-220-2204 FAX：076-260-7191
E-mail：sansei@city.kanazawa.lg.jp

■新製品開発・改良促進事業

企業が新製品・新技術・新システム等の開発を行う経費の一部を助成します。新製品等の開発事業については、産学連携コース、単独企業コース、企業連携コースの3種類の補助メニューがあります。また、既存製品を改良する場合の補助もあります。募集期間は令和4年4月11日(月)から6月10日(金)17:00までです。

■ものづくり実践塾

自社製品を持つことで経営基盤の強化をめざす中小企業者に、支援チーム(本市ものづくりコーディネーター、製品開発監修者、弁理士で構成)が伴走しながら、自社の事業分野を活かした製品の開発から販路開拓までを支援します。

詳細は、令和4年4月にホームページ等でお知らせします。

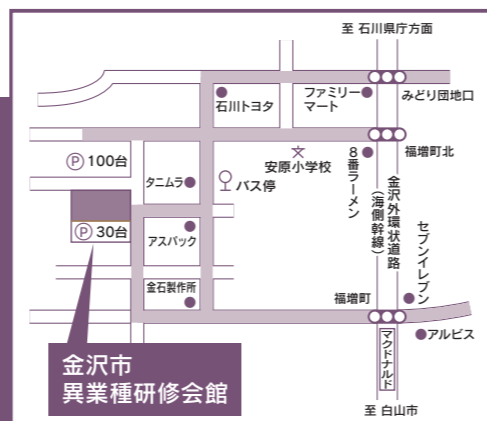
担当：金沢市 経済局 商工業振興課 TEL：076-220-2205 FAX：076-260-7191
E-mail：syoukou@city.kanazawa.lg.jp

■金沢市産学連携事業運営委員会

事務局

○金沢市経済局商工業振興課
〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号
TEL 076-220-2205 FAX 076-260-7191
E-mail:syoukou@city.kanazawa.lg.jp

○金沢市異業種研修会館
〒920-0377 金沢市打木町東1400番地
TEL 076-240-1934 FAX 076-240-1903
ホームページ http://www.kanazawa-sangaku.jp/



金沢市産学連携事業 運営委員会通信



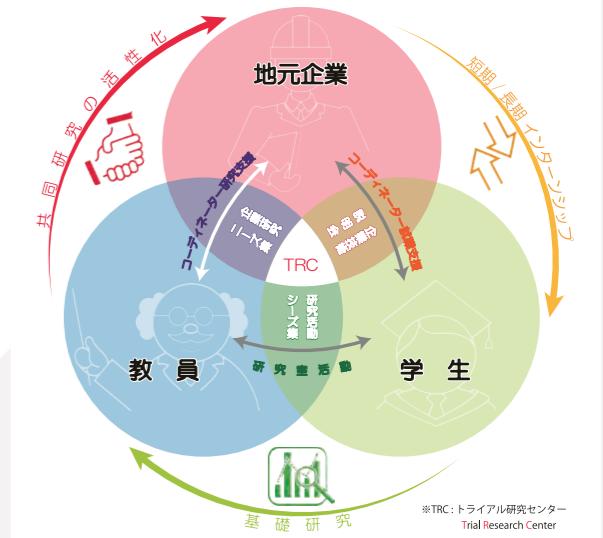
金沢市では、金沢市産学連携事業運営委員会を設置し、ものづくり産業の振興と発展のため、地元企業と大学等の高等教育機関との連携による新製品開発、新技術開発、人材育成を推進しています。

石川高専トライアル研究センター 人づくり・ものづくりを通じた産学連携活動

高等専門学校は実践的・創造的技術者を養成することを目的とした高等教育機関です。石川高専は、一般教育科と専門5学科(機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、環境都市工学科、建築学科)そして5年間の高専における教育を基礎としてより高度な専門知識と技術を教授し、幅広い分野で活躍できる研究開発型技術者の育成を目的とした専攻科(電子機械工学専攻、環境建設工学専攻)から構成されています。

地域産業界等との共同研究・技術交流推進の場、地域社会に開かれた体験教育の場を提供する機関としてトライアル研究センターが設置されています。さらに地元企業を中心に石川高専の教育研究を支援し、石川高専と会員企業間の交流を深め産業技術の振興を図り、地域社会の発展に寄与するために石川工業専門学校技術振興交流会が設置されています。

石川高専ではこのトライアル研究センターと技術振興交流会を両輪に連携・協力して産学連携を推進しております。産学連携の活動として、学生と企業、教員と企業の二つの領域を紹介します。



1. 学生と企業をつなぐ活動：

本科3年生、4年生を中心にキャリア教育の一環として、技術振興交流会会員企業の技術力や仕事の魅力を伝える「企業技術説明会」を毎年12月に開催しています。令和3年度は会員企業260社の半数に当たる130社が参加しました。専攻科一年生は9月から12月まで3カ月間インターンシップを実施しています。企業によっては、学生を研究開発に参画させて頂き、専攻科の研究として継続して取り組む場合もあります。

2. 教員と企業をつなぐ活動：

若手技術者に対するリカレント教育の一環として、研修事業を実施しています。令和3年は「スキルアップ中核人材育成講座」「AI講座」などの実践的な研修会を開催しました。また教員と企業、企業間での交流を推進する企業見学会の開催、教員の研究シーズの提供の場でもある「テクノフェスタ」を毎年3月に開催しています。

石川工業高等専門学校 トライアル研究センター

〒929-0392 石川県津幡町北中条
home page <https://www.ishikawa-nct.ac.jp/tech/>
TEL：076-288-8080 FAX：076-288-8014 Email：itctrial@ishikawa-nct.ac.jp

令和3年度の取り組み

先端ものづくり技術交流セミナー

金沢市異業種研修会館での実施とオンライン配信を併用しながら、さまざまな分野における最新技術の動向を紹介しました。

第1回 DX実現のためのAI、IoTの活用と産学連携による社会実装および人材育成

社会や企業のDX実現のために活用するAIやIoT導入にかかる費用対効果や人材不足等の様々な問題を解決するために、産学連携が果たす役割を紹介いただくとともに、スマートフォンを現場の効率化や改善に活用していく検証事例と共同研究についてお話いただきました。

日時 令和3年11月4日(木) 14:00～16:30
講師 金沢工業大学 工学部情報工学科 教授 松井 くにお 氏
株式会社別川製作所 企画開発室 室長 高筒 正義 氏
参加者数 31名



音点検アプリを利用したサービス検証イメージ コード化点字ブロックアプリ

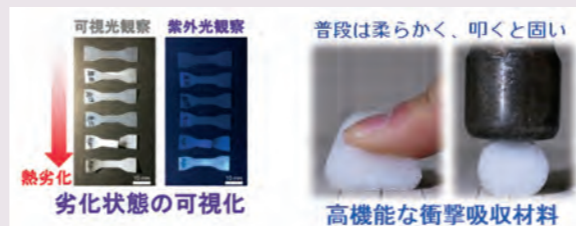
参加者アンケートより

- ・産学連携はもっと敷居の高いものだと思っていたが、身近に感じる事ができた。
- ・実際に会社内で取り組んでいるDXの動きが具体的で分かりやすかった。

第2回 プラスチックの知られざる特性と製品開発への活用

プラスチックを効果的に製品開発に活用するために、プラスチック材料が壊れたり劣化したりする際に起こる現象や、その観察方法など、耐久性について詳しくお話いただくとともに、プラスチックを速く変形させると固くなる特長を積極的に利用して、高機能な衝撃吸収材料として活用する応用例をご紹介いただきました。

日時 令和3年12月16日(木) 14:00～16:30
講師 金沢大学 理工研究域フロンティア工学系 准教授 比江嶋 祐介 氏
金沢大学 理工研究域フロンティア工学系 准教授 樋口 理宏 氏
参加者数 25名



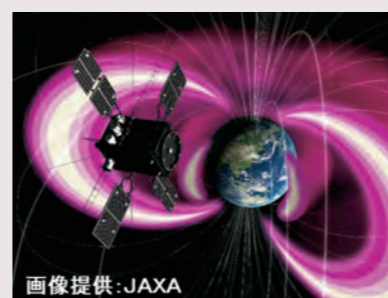
参加者アンケートより

- ・結晶、非晶のつながりでプラスチックが出来ていて、結晶の厚みと非晶の関係がおもしろかった。
- ・樹脂の硬化、軟化を同じ素材でコントロール出来ること、衝撃で硬化する事が非常に気になった。
- ・衝撃スピードの違いによって変形に差が出る事例は面白い現象であると感じた。

第3回 宇宙産業から学ぶものづくりの進め方と新たな産業用途への応用

宇宙産業に携わる講師をお招きし、JAXA(宇宙航空研究開発機構)の探査機プロジェクトの実践から、宇宙開発における「ものづくり」の進め方をお聞きする一方、天体から放射されるX線やガンマ線の検出技術が、「ものづくり」や一般産業にも生かされていることをお話いただきました。

日時 令和4年2月21日(月) 14:00～16:30
講師 JAXA 宇宙教育センターアドバイザー 清水 幸夫 氏
金沢大学 理工研究域 先端宇宙理工学研究センター 助教 有元 誠 氏
参加者数 32名



画像提供: JAXA

参加者アンケートより

- ・プロジェクトが細部までマニュアル化されており、プロセスなどが参考になった。
- ・ガンマ線関連の説明が分かりやすく、測定方法や難しい点についても良く理解できた。

金沢美大デザイン講座

ものづくりへのデザイン活用を推進するための入門セミナーと実践的なワークショップのデザイン開発体験塾を開催しました。

デザイン入門セミナー

■これからのものづくりに必要なこと

金沢美術工芸大学教員より環境に配慮した持続性のある製品開発について分かりやすく解説いただくとともに、実際にサステナビリティ(持続可能性)の考え方を経営に取り入れている企業の方に、取り組み内容についてご紹介いただきました。

日時 令和3年9月27日(月) 14:00～16:00
講師 ニッコー株式会社 常務取締役 三谷 直輝 氏
金沢美術工芸大学 製品デザイン専攻 教授 安島 諭 氏
エイジデザイン株式会社 代表取締役 稲垣 揚平 氏
参加者数 32名

参加者アンケートより

- ・サステナブルな取り組みとして紹介された新サービスでは、取り組むまでに至った経緯や背景、想いを知ることが出来た。
- ・今後は世の中も大きく変わっていくので、ものづくりの姿勢そのものも考えないといけないと感じた。

デザイン開発体験塾

■デザインワークショップで体験!企業間コラボレーションによるこれからのものづくり

市内企業の参加者同士が課題やその解決策について考え、製品企画を立案し発表しました。

日時 令和3年10月12日～11月9日の毎週火曜日(全5日) 各回とも14:00～16:00
講師 金沢美術工芸大学教員等
参加者数 6名

参加者アンケートより

- ・商品開発のプロセスを学ぶことができ、また、企業間コラボの可能性に気づくことができた。
- ・こんなにいいアイデアが出ると思っていなかったので予想よりいいものができたと思う。

マーケティングセミナー

製品開発や販売を行うためのマーケティングについてのセミナーを開催しました。

■上場企業に学ぶ!事業戦略策定のポイント

競争戦略の切り口について詳しく解説いただくほか、起業から東証マザーズに上場するまで成功を遂げた起業家の方に、戦略の視点を含めた実体験をお話いただきました。

日時 令和4年3月14日(月) 14:00～16:30
講師 北陸大学 経済経営学部 学部長 教授 五味 一成 氏
株式会社フレアス 代表取締役社長 CEO 澤登 拓 氏
参加者数 24名

参加者アンケートより

- ・マーケティングについて、体系立てて話を聞く機会が少ないので、とても参考になった。
- ・成功の見込が立つまで、テストマーケティングを重視する柔軟性を確保することの重要性を理解した。